



にこにこ通信



就学前乳幼児（0～5歳児）のおられる家庭の子育て支援を行っています。
ふれあいの場、出会いの場、学びの場として、たくさんの方に利用していただきたい
と思っています。ぜひ、みなさん気軽に、遊びに来て下さいね。



自由利用について

月～金曜・土（月2回） 午前9時～午後3時

★自由に遊び来て下さいね。



気をつけたい3大夏風邪

	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱（プール熱）
感染経路	飛沫感染 経口感染（糞口感染） 水疱の内容物からの感染	飛沫感染 接触感染 経口感染（糞口感染）	飛沫感染 接触感染 塩素消毒が不十分なプ ールで目の粘膜から感染
潜伏期間	3～6日	3～6日	5～7日
感染期間	症状が治まった後もウイルスは呼吸から1～2週間、 便からは数週間から1ヵ月程度排出される		ウイルスは初期の頃に多 く排出されるが、症状が 治まってからも1ヵ月程 度続く
症状など	手のひらや足の裏、口の中、場合によってひじ、ひざ、おしりなどに水疱ができる。体の水疱はかゆみを伴う。発疹は2～3日で褐色の斑点となり、その後消える。熱は出ても1～3日で下がる。あまり高くなく38度以下であることが多い。	38～39度の高熱が出る。のどの奥が赤く腫れ、小さな水疱ができる。破れると潰瘍になり、強い痛みを伴う。	39～40度の高熱が3～7日続く。のどが赤く腫れて痛む。目が充血し、目やにが出てまぶしがる。

夏風邪のウイルスを退治する有効な薬はありません。これらのウイルスを退治するには、自分の持っている免疫力を高めてウイルスが排除されるのを待つしかありません。それには安静を保ち、栄養と水分を補給し、これ以上体調を崩さないように無理をしないことが大切です。

また、夏風邪を予防するには、手洗いやうがいはもちろん、十分な睡眠と栄養化の高い食事を摂ることが重要なポイントです。

☆多可町子育てふれあいセンター <[Email>kosodate@town.taka.lg.jp](mailto:kosodate@town.taka.lg.jp)>

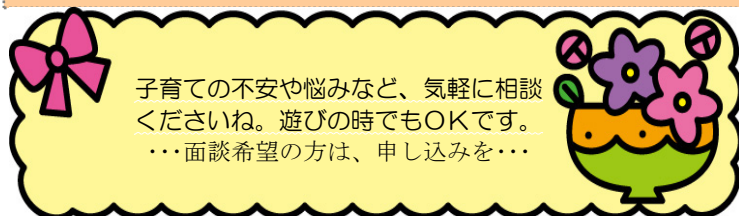
〒677-0114 多可町八千代区仕出原 353 <TEL/FAX> (0795) 37-2525

7月の予定

★天候等により、活動場所・内容が変更になる場合があります。変更内容については、ホームページで、確認することができます。<http://takacho.tokyo.r-cms.jp/kosodate/>

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 ・食育C 子育てふれあいセンター	4 ・おやこ活動 (H27) 中児童館	5 ・おやこ活動 (H28) 子育てふれあいセンター	6 ・にこにこ教室 (H23～26) 旧中町幼稚園 (中児童館集合)	7 ★親子あそび 旧中町幼稚園 (アスバル集合)	8 自由開放 子育てふれあいセンター
9	10 ★育児体験授業 八千代中学校	11 ★育児体験授業 八千代中学校	12 ・おやこ活動 (H26) グリーンプラザ	13 ★いずみ会 との交流 交流会館	14 ★園児交流会 キッズランドやちよ	15
16	17 海の目	18 ・おやこ活動 (H27) グリーンプラザ	19 ・おやこ活動 (H28) グリーンプラザ	20 ・にこにこ教室 (H23～26) 加美区豊部の川	21 ★親子あそび なか・やちよの森 (溪流広場)	22 自由開放 子育てふれあいセンター
23	24 ・ほかほかC 子育てふれあいセンター ★赤ちゃん広場 子育てふれあいセンター	25	26	27 ・おやこ活動 (H26) 町民プール	28 ★平日親子交流会 交流会館	29
30	31 ★学習会 交流会館					

★「年度別おやこサークル活動」「自主サークル活動」「にこにこ教室」の内容については、在宅家庭配布の『ほかほかたより』をご覧ください。



家庭相談員にも相談できます

子どもの成長や発達に関すること、家庭をはじめ子どもを取りまく生活環境に対する悩みなど、子どもに関するあらゆる相談があれば、お気軽にご連絡ください。こども未来課 教育委員会 電話 32-2385

多可高校 育児体験授業協力(6月5日・12日・21日) よい



高校生から質問タイム



オムツ交換体験



お互いに緊張気味の抱っこ

活動のお知らせ



保育園・幼稚園がお休みの時は、いつでも遊びに来てね。



☆親子あそび・・・誰でも参加できます。申込不要

と き： 7月7日(金) 10:00～11:30

ところ： 旧中町幼稚園 *集合:アスパル

内 容：「どろんこあそび」

*どろんこになって、元気いっぱい遊びましょう。
よごれてもいい服できてくださいね。

持ち物： お茶、帽子、着替え、タオル

【雨天時】 交流会館であそびます。

と き： 7月21日(金) 10:00～11:30

ところ： なか・やちよの森 溪流広場(八千代区俣田)

内 容：「川あそび」

*溪流の水の心地良さを感じながら、カニや
魚など川の生きものをさがしたりして、
夏の川遊びを楽しみましょう。

持ち物： お茶、帽子、水着またはぬれてもいい服
着替え、タオル

【雨天時】 八千代プラザであそびます。

☆八千代中学校授業協力

「育児体験学習」・・・申込必要

と き： 7月10日(月)・11日(火)

10:15 集合 10:45～11:35

ところ： 八千代中学校

持ち物： お茶、母子手帳、エコー写真(可能な方)

*ご協力よろしくお願いします。

☆いずみ会 食育教室 ...申込必要 (先着16組)

と き： 7月13日(木) 10:00～13:00

ところ： 交流会館

内 容：「親子クッキング」～料理の基礎を学ぶ～

【献立】 チキンライス・ミルクポテトサラダ
ヨーグルトクネル

参加費： 1人 100円

持ち物： エプロン・お茶

三角巾(お子さんの分もあれば)

※ 朝ご飯チェック表を申し込み時に渡します。
当日持ってきてくださいね。



☆園児交流 ...申込必要(先着20組)

と き： 7月14日(金) 9:20～11:30

ところ： キッズランドやちよ

9:20 子育てふれあいセンター集合

内 容： 5歳児との交流

9:30 5歳児発表(うた・ハンドベル)

交流あそび

10:10 好きなあそび

*5歳児さんといっぱい遊びましょう

11:00 片づけ・さようなら

*園児交流終了後、自由に「英語で遊ぼう」
の様子を見学できます。

【持ち物】 お茶、上靴(きれいに洗った靴でも可)

☆平日親子交流会 ...申込必要 「夏のつどい」

と き： 7月28日(金) 10:00～12:30

ところ： 交流会館

内 容：「夏祭り」

*詳しくはチラシをご覧ください。

*お母さん委員さんと計画・準備を進めています。
できるだけたくさんの親子のみなさんが楽しんで
交流できたらいいなと思っています。
ぜひ、ご参加ください。

☆学習会 ...申込必要

と き： 7月31日(月) 10:00～11:30

ところ： 交流会館

内 容：「子育て座談会」

*日頃思っていることや、聞きたいことを
いっしょにお話ししましょう。

赤ちゃん広場

と き： 7月24日(月) 10:30～11:00

ところ： 子育てふれあいセンター

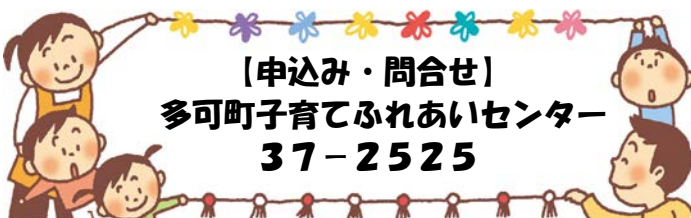
内 容： ・身体測定

・スキンシップあそび

・おはなししましょう

その後センターで自由遊び

*誰でも参加できます。気軽にお越しくださいね。



【申込み・問合せ】

多可町子育てふれあいセンター

37-2525

子育てのコツ

●はじめに

子育てをしていると、悩みや不安を感じることは少なくないと思います。

「本当にこれでいいの?」「こんな時、どうしたらいいの?」子育てに悩みはつきませんね。

そこで今回は、子育て中に感じることで、多い質問を、取り上げたいと思います。



Q1 しつけはいつから、どうやって?

しつけとは何だと思いますか? 手づかみではなく、スプーンを使ってごはんを食べるようにすることを、私たちは「しつけ」と言いますね。でも、世界には手づかみで食事をする民族もたくさんいます。日本人は大きくなったら箸を使えるようにしつけますが、欧米人はナイフとフォークを使うようにしつけます。スプーンを使うのは「ねばならない」ことではありません。しつけで伝えようとしているのは「文化」なのです。国や民族によって文化が違いうように、家庭によっても文化は違います。それぞれに価値観があります。だから、一人ひとりしつけは違っていいのです。何をどう伝えたいかは、ご両親それぞれに価値観が違うのですから。文化を伝えるのがしつけです。ですからその受け皿ができた時期を見計らって伝えればいいのです。オムツをはずすのも、洋服を脱いだり着たりするのも、食事のマナーも何もかも。

できそうになったときは子ども自身がシグナルを出します。やってみようとするんです。そうしたら、手を添えて手伝ってあげればいいのです。もしやろうとしてできなかったら、「できなかったね〜」と言ってあげればいい。「すぐにできるようになるよ」と言ってあげられればいいのです。やってみたいという子どものシグナルを受け止めて、それを手伝うことがしつけの始まりです。

Q2 激しい反抗期が終わりません。いつまでもイヤイヤと言わせていていいの?

乳幼児期の反抗期は2〜3歳ごろに起こります。何を言っても「イヤなの!」「やらない!」とアマノジャクな反応をする子どもの相手をするのは、本当に大変です。でも子どもは、

安心しているから親に反抗します。「こんなワルでも好き?」と、反抗します。

子どもは、依存と反抗を繰り返しながら、自立します。依存というのは、自分のいうことを聞いてもらうこと。一方、反抗というのは、無理やりに自分の言うことを聞かせようとすることです。つまり、依存も反抗も、「わたしの言うことを聞いてください」と同じことを訴えているのです。らせん階段のように、依存と反抗の間をクルクルしながら、子どもたちは成長の階段を上っていきます。反抗が大きい時期は自立をしようと努力をしている、自立をしようともがいている時期です。それをしっかり受け止めていれば、反抗は終わります。でも、おさえつけてしまうと、かえって反抗は長引きます。十分に親に反抗ができなかった子は、成長後に社会に向かっても反抗します。逆に親に反抗ができずに「いい子」を続ける子どももいます。これでは、自立ができません。

反抗する子どもを、「反抗するのはすすく育っているあかし。よしよし」と思って見ることができれば、お母さんのイライラも軽くなるのではないのでしょうか。そうやって、気持ちをちゃんと受け止めていると、反抗期は短くなります。



参考図書 子育てでいちばん大切なこと

著: 佐々木正美



